

第 4 回沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨

日 時：令和 6 年 1 月 31 日（水）16：30 ～ 18：00

場 所：ZOOM（WEB 会議）

出席者：11 名 高江洲あやこ（那覇市医師会）、東恩納貴子（那覇市立病院）、朝川恵利（宮古病院）、長野宏昭（いきがい在宅クリニック）、崎原友美子（八重山病院）、大城梨沙（北部地区医師会病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、宮城愛子（訪問看護ステーションアレグリア）、崎辰子（那覇市役所）、仲門文子（沖縄県介護支援専門員協会）、増田昌人（琉大病院）

欠席者：4 名 喜納美津男（きなクリニック）、金城隆展（琉大病院）、荷川取尚樹（花あかり合資会社）、新屋洋平（西崎病院）

陪席者：2 名 有賀拓郎（琉大病院）、玉城由奈（琉大病院）

報告事項

1. 令和 5 年度 第 3 回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨
資料 1 に基づき、令和 5 年度 第 3 回緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨が報告された。
2. 令和 5 年度 第 4 回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨
笹良委員より、資料 2 に基づき、令和 5 年度 第 4 回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があった。
3. 令和 5 年度 第 3 回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨
増田委員より、資料 3 に基づき、令和 5 年度 第 3 回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨の報告があった。
4. 令和 5 年度 緩和ケア在宅医療部会(在宅 WG・部会・研修 WG) 委員名簿一覧
高江洲委員より、資料 4 に基づき、今年度の委員の報告があった。

協議事項

1. 次年度のワーキング長・副ワーキング長の選出について
次年度のワーキング長は高江洲あやこ委員、副ワーキング長は喜納美津男委員と東恩納貴子委員に決定した。
2. 次年度のワーキング委員の選出について
笹良委員より、在宅の先生で教育的な普及啓発の役割を担っているような先生や在宅のこれからを広げていく先生が入って頂くのはどうかと提案があった。その辺りは、新屋先生が詳しいので相談したい。また、おかえり在宅クリニックの東先生は、一緒にコンフォートセットを作成しているので参加して頂きたいとあった。
宮城委員より、次年度は宮城委員に変わり、訪問看護ステーションはえばるの管理者、城間忍さんが引き受けてくださることとなった、と報告があった。

3. 今年度の年間活動計画について

増田委員より、当日資料に基づき、このワーキングで行う活動を決めて頂きたいと依頼があった。

【委員のみなさんより】

≪個別施策≫

- ・⑩は、医療介護連携推進事業が取組みとして実施もしくは、予定している。
- ・⑪は、緩和ケアサイト「まじゅん」で専門家への相談コーナーがある。

<https://majun-kanwa.com/>

- ・拠点病院および、在宅医療機関や看取りを行っている介護施設、訪問看護師を交えたデスカンファレンスの開催（各拠点病院持ち回り）。
- ・それぞれの地区や施設で退院前カンファレンスや看取り患者の振り返りを行っているが、定期的な開催が難しいところもある。
- ・在宅で看取をした患者さんの振り返りをする場の前段階として訪問看護ステーションのみなさんが交流を持つ必要がある。
- ・看取りの経験がない、もしくは少ない訪問看護の勉強会や情報交換会の開催をし、看取りができる訪問看護の件数を増やす。
- ・ケアマネージャーの質向上に向けた勉強会や相談窓口。
- ・外来患者と事前に訪問看護師さんと一緒にきてくださり、顔合わせをしてスムーズに繋げていくパターンや主に診てくださる訪問看護師さんとは連携しやすい。
- ・ケア・カフェやコンフォートセントは、個別施策のどれにあたるのか。

以上のことから、開催しにくいことや大変だということのサポートをこのワーキングでサポートしていくのが良いのではないかと、との意見があった。活動内容は次回、決めることとなった。

4. ケア・カフェについて

高江洲委員より、資料5に基づき、第1回ケア・カフェの報告があった。アンケート結果では肯定的な意見が多く、改善点は今後工夫していきたいとあった。第2回は南部地区を対象に5月頃を予定しており、事務局を通して日程や場所などを決めていきたいとのことだった。

5. 在宅緩和コンフォートセット沖縄版について

笹良委員より、在宅医療医師応援システムとリンクしながら作成中で、薬剤部や地域の薬局とどうするかというところで止まっていると報告があった。

6. 次回の在宅ワーキングの開催日程について(ZOOMによるWEB会議)

2024年5月29日(水) 16:30～開催で決定した。

7. その他

特になし。

報告事項

5. 在宅医療推進フォーラム 2023 について

長野委員より、資料 6 に基づき、在宅医療推進フォーラム 2023 の開催案内があった。第一線で頑張っている先生たち向けではなく、在宅医療に興味あるがどう踏み込んだらよいか悩んでいる方などを対象とし、難しい専門用語をなるべく使わず対等に対話ができるフォーラムです。皆様のご参加お待ちしております、とあった。

<https://okizaitakufm2023.hp.peraichi.com/>

6. 2023 年度 緩和ケア研修会開催一覧について

増田委員より、資料 7 に基づき、今年度の緩和ケア研修会の開催は、2月17日が最後と報告があった。また、次年度はフォローアップ研修会の開催を予定していると報告があった。

7. 若年がん患者等支援事業の概要について

増田委員より、資料 8 に基づき、アピアランス支援事業および、若年がん患者在宅療養生活支援事業の報告があった。

《アピアランス支援》

がん治療による脱毛や、乳房切除による外見変化へ対応するための用具購入費用をそれぞれ上限 20,000 円。実施主体は市町村とし、県がその半分を補助。6 箇所のがん相談支援センターで相談をしてから購入することが義務づけられている。

《若年がん患者在宅療養生活支援事業》

18 歳から 39 歳の末期がん患者について公的支援がないことからそれに対する補助。実施主体は市町村で上限 54,000 円とし、その半分を県が補助。対象経費は、訪問看護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、福祉用具購入の 4 つとなっている。

8. その他

笹良委員より、「GRACE オンライン研修会 ジョアン・ハリファックス老師来日～GRACE のすべてを体感しよう」の案内があった。コンパッションを育み、燃え尽きを防ぐ GRACE プログラムの研修会です。興味ある方はどうぞご参加ください、とあった。

<https://gracework2024online.peatix.com/>

以上

令和5年度第4回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング 議事要旨

日 時：令和6年2月14日(月)16:00~17:10

場 所：ZOOMによるWeb会議

出席者9名：安座間由美子（県立中部病院）、足立源樹（那覇市立病院）、中村清哉（琉大病院）、笹良剛史（豊見城中央病院）、西原実（ハートライフ病院）、林正樹（中頭病院）、神山佳之（南部医療センター・こども医療センター）、水嶋美菜子（沖縄県健康長寿課）、増田昌人（琉大病院）

欠席者7名：川満博昭（県立宮古病院）、酒井達也（県立八重山病院）、野里栄治（北部地区医師会病院）、久志一郎（沖縄病院）、新里誠一郎（浦添総合病院）、友利健彦（沖縄赤十字病院）、新屋洋平（西崎病院）

陪席者1名：玉城由奈（琉大病院）

報告事項

1. 令和5年度 第3回沖縄県緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨
資料1に基づき、令和5年度第3回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨の報告があり、承認された。
2. 令和5年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨
資料2に基づき、令和5年度第3回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨の報告があった。
3. 令和5年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨
資料3に基づき、令和5年度4回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があった。
4. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会委員名簿一覧
資料4に基づき、委員の確認をした。
5. 令和5年度緩和ケア研修会の報告について
 - (1) 北部地区医師会病院【第5回 2023年11月18日(土)】
野里委員が手術のため欠席となり、各自で資料5-1を確認することとなった。
 - (2) 沖縄県中部病院・沖縄県八重山病院（共催）【第6回 2023年12月9日(土)】
資料5-2に基づき、安座間委員より、今回は実際に入院されている患者さんに会議室へ来ていただき、症状が出て病気が発覚し抗がん剤治療に至るまでのお気持ちの変化を実際に述べていただく予定だったが、インフルエンザが発生しまったためビデオ録画し、それを流すこととなったと報告があった。ポストテストの結果はプレテストよりは良くなっていた。アンケートへは研修の時間が長いと毎回上がってくるので、各病院さんで工夫していることがあれば教えて頂きたいとあった。
 - (3) 友愛医療センター【第7回 2024年1月13日(土)】
資料5-3に基づき、笹良委員より、今年は去年より人数を減らして開催したと報告があった。今回はリレー・フォー・ライフ・ジャパンのAYA世代の代表の方にお話を頂き、同世代の若い先生方だったので、最初にインパクトがあってモチベーションが良かったように感じた。e-learningの復習では、あまり詳しい説明はせず、放射

線の先生のスライド 5・6 枚と笹良先生が APC やコミュニケーションスキルの話と神経ブロックのお話を資料つけて行った。鎮痛補助薬や麻薬の処方をほとんどしたことのない研修医の先生方が多いため、講義を担当してもらう先生に別資料を作成して頂き、ワークの時に配布して使用した。質疑応答でも活発な意見が出て、スムーズな研修会となった。終了後のアンケートは QR コードを貼り付けて、すぐ回答していただいた。研修時間が長いとの意見もありましたが、足りないとの意見が多々あった、とのことだった。

(4) 沖縄誠十字病院【第 8 回 2024 年 1 月 14 日(日)】

友利委員が緊急手術のため欠席となり、各自で資料 5-4 を確認することとなった。

(5) 中頭病院【第 9 回 2024 年 1 月 14 日(日)】

資料 5-5 に基づき、林委員より、他院含め、看護師 4 名、作業療法士 1 名、初期の研修医が多く受講されたと報告があった。e-learning 復習は当院の副院長に担当して頂いた。大きな問題もなくスムーズに研修会を終えたとのことだった。

安座間委員より、作業療法士さんも参加されていますが、ロールプレイングの時のグループ割りはどのようにされましたか、と質問があった。

林委員より、コメディカルの方にも医師役をしていただき、経験をさせていただいた、と回答があった。

協議事項

1. 次年度の WG 委員について

増田委員より、資料 4 に基づき、緩和ケア研修会または、それ以外の研修会を遂行していく中で、入って頂いた方がよりいいのかなというのがあれば皆様からご意見を頂戴したいと依頼があった。

足立委員より、3 月いっぱい那覇市立病院を退職することになり、4 月より鹿児島県に移ります。それに伴い、研修ワーキングの委員も変わりますと報告があった。

西原委員より、4 月から国吉先生へ変更になると報告があった。

笹良委員より、委員変更となる際に、後任の先生と引継ぎを兼ねてペアでワーキングへ参加してもらうのも良いかも、とあった。また、自殺対策の面からも精神科の先生に入っていただくのはどうか、と提案があった。

足立委員より、その精神科の先生に何をしてもらいたいかによって、どこに入るかになると思います。例えば、研修ワーキングだと、いろんな病院で精神のお話をするときにその先生を中心に相談して頂きたいとか、患者さんの声を届けるというのであれば、患者会の方をメンバーに入れるなど、何をしてもらいたいかを考えると良いと思うと意見があった。

安座間委員より、ロジックモデルを考える上で精神科の先生がいた方が良いとは思いますが、ここは研修ワーキングのため、この場で決めるのは難しいので在宅医療部会へ提案するという事でいいですか、と確認があった。

笹良委員より、在宅医療部会へ入れて頂くように考えたいと思います。その時には緩和ケア研修会に参加して頂いている先生から選ぶことになると思いますので、各病院で

お世話になっている心療内科や精神科の先生の情報を事務局に預けて頂けたらと思います、と依頼があった。

2. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)における専門部門の所掌分担について

増田委員より、資料6に基づき、協議会で決議された内容の報告があった。今後は3月、6月、9月、12月に専門部会を開催して頂き、次の幹事会4月、7月、10月、1月に報告する。さらに2か月後の協議会(5月、8月、11月、2月)で報告し、予算要望事項があれば7月の第2回幹事会へ提出する、とのことだった。

3. ロジックモデルを用いての次年度の緩和ケア・在宅医療部会の活動計画について

増田委員より、当日資料に基づき、研修ワーキングで何か活動したいことがあればアイデアを出して頂きたいと、依頼があった。

安座間委員より、例えば、緩和ケア研修会の研修として、自殺のこういうことをやりたいとか、こういう予算が欲しいという場合は、在宅医療部会へ話を上げるという事によるのでしょうか、と質問があった。

増田委員より、基本的には、各ワーキングでご意見を出していただいて、在宅医療部会へ上げていただくのが一番良いと思います。研修ワーキングは緩和ケア研修会がメインではありますが、それ以外やってはいけいというのはありませんので、ワーキングで活動したいことがあれば、企画したうえで予算を出すこととなる、と回答があった。

安座間委員より、アイデアはロジックモデルのデータに書き込んでメールでお送りする形でよろしいでしょうか、との質問に、増田委員より、それで結構ですと、回答があり、期日は2月22日で、遅くても2月以内に頂けるとありがたいとのことだった。

4. 令和6年度 緩和ケア研修会の開催について

資料7に基づき、各病院の次年度開催確定日と開催予定日の報告があった。

- ・琉球大学病院：WEB開催、同じくらいの日程で9月開催予定
- ・那覇市立病院：現地開催、同じくらいの日程で9月開催予定
- ・南部医療センター・こども医療センター：対面開催、2024年9月28日(土)開催決定
- ・中頭病院：12月から1月くらいで開催予定
- ・中部病院：現地開催、10月と12月あたりで開催予定、八重山病院共催と宮古病院共催でそれぞれ1回ずつ行う予定
- ・ハートライフ病院：同じくらいの日程で2月ごろ開催予定
- ・友愛医療センター：だいたい1月ごろ開催予定

安座間委員より、だいたい9月～2月にかけて各病院で月交代の開催の形となっておりますが、この開催対数で充足できていますか。受講したいのに受講できていないという状況はあるのでしょうか、との質問に、増田委員より、そういった報告は特に伺ったことがないので、多分大丈夫かなと思います、と回答があった。

5. 次回令和6年度第1回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキングの日程について

2024年5月頃の予定で、がんセンターにてスケジュール調整することとなった。

6. その他

特になし。

報告事項

6. 若年がん患者等支援について

増田委員より、資料 8 に基づき、アピアランスケア支援事業および、若年がん患者在宅医療生活支援事業の報告があった。

7. GRACE オンライン研修会について

笹良委員より、資料 9 に基づき、GRACE 研修会が 2024 年 3 月 30 日・31 日に奈良県の明日香村の会場とオンラインで開催すると報告があった。ご興味持たれる方がいらっしゃいましたら、ご参加いただければと思います、と紹介があった。

《会場》 <https://gracework2024real.peatix.com>

《オンライン》 <https://gracework2024online.peatix.com/>

8. 日本緩和医療学会 第 6 回 九州支部学術大会について

笹良委員より、資料 10 に基づき、2024 年 11 月 16 日に宮崎県で開催する、と報告があった。九州のみんなが集まって勉強できればと思いますので、ぜひご参加ください、と依頼があった。

9. その他

特になし。

以上

令和5年度 第5回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日時：令和6年3月6日(水) 16:00～17:22

場所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM会議)

出席者8名：笹良剛史(豊見城中央病院)、野里栄治(北部地区医師会病院)、屋良尚美(県立中部病院)、中島信久(琉大病院)、安次富直美(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、名嘉眞久美(がん患者会連合会) 増田昌人(琉大病院)

欠席者5名：中村清哉(琉大病院)、三浦耕子(県立中部病院)、川満博昭(県立宮古病院)、酒井達也(八重山病院)、水嶋美菜子(沖縄県健康長寿課)

陪席者2名：有賀拓郎(琉大病院)、玉城由奈(琉大病院)

報告事項

1. 令和5年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和5年度第4回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があり承認された。

2. 令和5年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料2に基づき、各委員の名簿について報告があった。

協議事項

1. 令和6年度 緩和ケア・在宅医療部会 部会長・副部会長の選任について

次年度の部会長は笹良委員、副部会長は野里先生に決定した。

屋良委員より、次年度の副部会長は検討させていただき、お返事したいとあった。

2. 令和6年度 緩和ケア・在宅医療部会 委員の選任について

三浦委員より、次年度は安座間先生が委員になると連絡があったことを事務局より報告があった。

笹良委員より、足立先生が退職すると報告があった。後任として、放射線の事も分かっているので有賀先生がオブザーバーから委員になるのはどうかと、提案があった。

有賀先生より、委員になるのは問題がないが、拠点病院の那覇市立病院が外れることに問題はないかと、質問があった。

足立委員より、緩和ケア部分の施策決定のために放射線科を1人入れようということでしたので、肩書ではなく何をしているかで人選することが大事だと思う、と回答があった。

有賀先生より、それでしたら人選もたくさんあるので、一旦預らせていただき、笹良先生へ連絡をするということでどうですか、との提案に、笹良委員が承諾された。

笹良委員より、次年度は目標設定に向けて精神科の先生を入れることを考えていきたいとあった。

3. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)における所掌分担について

増田委員より、資料3に基づき、協議会で決定したことの報告があった。緩和ケア・在宅医療部会では、緩和・支持療法分野の緩和ケアと在宅医療、共生分野の自殺対策が分担されているとのことだった。

4. ロジックモデルを用いた次年度の活動計画について

増田委員より、当日資料1に基づき、ご意見を頂戴したいと依頼があったが、時間の都合により、事務局へメールにて皆さんのご意見を頂戴することとなった。

5. 所掌分担分野の指標値の確認と評価について

増田委員より、当日資料 2-1 に基づき、2024 年から専門部会は定例会議を 3 月、6 月、9 月 12 月に開催することと、5 月にすべての専門部会を対象に進捗管理のための研修会を土曜日か日曜日のどちらか一日を予定している、と報告があった。また、当日資料 2-2 に基づき、沖縄県、全国値、最良値の説明があり、現段階では、まだすべてのデータが揃っていないが、データが揃った段階で皆さんの実感も含めて評価していくことを今後していただき、ご意見があれば頂戴して、次回 6 月の在宅医療部会で第 1 回目の評価をしていきたい、とあった。

6. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

安次富委員より、資料 4 に基づき、今まで 13 項目あったのを 5 項目に減らし、がん、非がんの両方を取ることにしたと説明があった。看護の質を上げるということで看護ケア介入率に重点を置いた内容に変更し、4 月から始めたデータになっている。身体症状つらさの除去率や看護ケア介入率が初めは低い、少しずつ上がってきている。このデータを元に前日、痛みがある患者や困っている患者だけに焦点を絞ってケアを行い、NRS であまり変化がなかった患者をピックアップし、緩和ケアセンターでその患者の辛さや痛みが取れない原因は何なのか、カルテを見て問題がある患者さんへは訪問をしている状況とあった。

有賀先生より、前回(約 2 年前)の報告であまり過剰にしすぎると看護師の業務過多になることや最終的なアウトカムの除痛や介入部分でポジティブな評価がなかったことから、隔日や 3 日でもよいのではと提案したが、看護師の方から毎日やりたいとの事だった。そのため、電子カルテを作り変えて項目を減らし、前日引用が出来るようにした結果、評価日数が減らさずに業務効率化され、改善傾向がある状態とのことだった。

笹良委員より、それが板についた形で、がん、非がんそして痛みだけではなく辛さという発展しながら負担にならず成立するっていうことはすごくいいことをやって頂いているので、モデルとして見習わせてもらいながらできるといいなと思っている。今後も必要に応じて報告していただきたいとあった。

7. 次回令和 6 年度第 1 回緩和ケア・医療部会の日程について

令和 6 年 6 月頃の予定で、事務局にてスケジュール調整することとなった。

8. その他

特になし

報告事項

3. 令和 5 年度 緩和ケア・在宅医療部会 第 3 回、第 4 回在宅ワーキング 議事要旨

資料 5 に基づき、令和 5 年度緩和ケア・在宅医療部会 第 3 回、第 4 回在宅ワーキング議事要旨の報告があった。

4. 令和 5 年度 緩和ケア・在宅医療部会 第 3 回研修ワーキング 議事要旨

資料 6 に基づき、令和 5 年度緩和ケア・在宅医療部会 第 2 回研修ワーキング議事要旨の報告があった。

5. 令和 5 年度 沖縄県緩和ケア研修会開催日程一覧表

時間の都合上、資料 7 は各自で確認することとなった。

6. 令和 5 年度 緩和ケア研修会の報告書について

時間の都合上、資料 8 は各自で確認することとなった。

7. 令和 6 年度 沖縄県緩和ケア研修会開催日程一覧表
時間の都合上、資料 9 は各自で確認することとなった。
8. GRACE 研修会について
時間の都合上、資料 10 は各自で確認することとなった。
9. 日本緩和医療学会 第 5 回および第 6 回九州地区学術大会について
時間の都合上、資料 11 は各自で確認することとなった。
10. その他
特になし

以上